



大地

目指す子どもの姿

自分で考え 自分で決めて
自分で行動する子2026
JULY

7

小さな挑戦が、子どもを大きく育てる夏に

一人一人の成長に、ありがとう

足寄町立足寄小学校長 池田 圭子

毎朝、花壇の花にそっと水をあげている子どもたちがいます。
「今日は暑くなるから、お花ものが渴くと思って。」

そんな優しい一言に、思わず笑顔になりました。

委員会活動では、「もっと学校を楽しくしたい」と、子どもたちが自分たちで考え、話し合い、活動を進める姿がありました。リコーダーが上手に吹けるまで何度も練習する子。教室では、何度も書き直ししながら漢字を覚えようとする子。毎日こつこつ家庭学習を続ける子。

どれも目立つことではありませんが、「昨日より少し成長したい」という子どもたちの思いがあふれています。

一学期の子どもたちの頑張りを、心から誇りに思います。

できるようになったこと以上に、「やってみよう」と勇気を出したこと、「もう少し頑張ろう」と続けたことが、子どもたちを大きく成長させたように思います。

その歩みを温かく支えてくださったのは、保護者の皆様、そして地域の皆様です。

毎朝送り出してくださること、励ましの言葉を掛けてくださること、地域で見守ってくださること。その一つ一つが、子どもたちの安心につながり、「やってみよう」という勇気を育てています。

皆様の温かなご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

夏休みは、心が育つ時間

いよいよ夏休みです。

夏休みには、学校では味わえない時間があります。

朝顔を水をあげる朝。

家族と食卓を囲む夕暮れ。

虫を追いかけたり、本に夢中になったりする昼下がり。

そんな何気ない毎日が子どもたちの心を豊かに育てます。

学ぶのは、勉強だけではありません。

誰かのために動くこと、挑戦すること、

最後まで続けること。

そんな経験が、子どもたちの未来につながっていきます。

小さな挑戦が、自信になる

アメリカの社会福祉活動家、ヘレン・ケラーは、
「人生はどちらかです。勇気をもって挑む冒険か、何もな

いか。」

という言葉を残しました。

子どもたちにとっての冒険は身近なところにあります。

○毎日、自分で起きること。

○お手伝いを続けること。

○苦手なことに挑戦すること。

○一冊の本を読み切ること。

途中でうまくいかなくても、「もう一回やってみよう」

と思える経験が、子どもたちの自信を育てます。

挑戦したことも、続けたことも、きっと子どもたちの大

きな力になります。

本校が大切にしていること

本校の目指す子どもの姿は、
「自分で考え 自分で決めて 自分で行動する子」
です。

この言葉には、自分の人生を自分の足で歩いていける人になってほしいという願いを込めています。

自分で考えること。

自分で決めること。

そして、自分で決めたことを最後までやり抜こうとすること。

それは決して簡単なことではありません。自分で考え、自分で選び、自分から一歩を踏み出す。

その経験を積み重ねることで、子どもたちは少しずつたくましく成長していきます。

だからこそ**学校では、子どもたちが自分で考える場面を大切に**しています。

ご家庭でも、ぜひ「どうしたらいいと思う？」「あなたはどうしたい？」と、お子さんの考えに耳を傾けていただければと思います。

その時間が、自分で考える力を育てていきます。

すぐに答えを教えるより、自分で考え、決める経験が、子どもたちの未来を支える力になっていきます。

この夏が、未来への一歩になりますように

この夏休み、お子さんに一つだけ尋ねてみてください。「この夏、どんなことに挑戦してみたい？」

その目標は、大きなことでなくてもかまいません。「毎日読書をする。」「家族のお手伝いを続ける。」

「料理に挑戦する。」「縄跳びや水泳ができるようになる。」

大切なのは、自分で決めること。そして、最後までやってみようとすることです。

できた日は一緒に喜び、思うようにいかなかった日は、「ここまで頑張ったね」「また明日やってみよう」と励ましてください。その言葉が、子どもたちの「もう少し頑張ってみよう」という勇気につながります。

夏は、子どもたちを少しだけ大人にしてくれる季節です。

青空の下で流した汗も、悔しくて流した涙も、家族と笑い合った時間も、そのすべてが子どもたちの心を豊かに育ててくれることでしょう。

二学期、少し日焼けした笑顔とともに、たくさんの「やってみたよ」「できるようになったよ」という話を聞くことができることを、教職員一同、心から楽しみにしています。

皆様にとって、この夏が、子どもたちの「小さな挑戦」を温かく見守る、かけがえのない時間となりますよう願っております。



お礼 子どもたちの未来を育む、温かなつながりに感謝 ～新・学力向上の取組 月間「基礎力プリント」～

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動を温かく見守り、支えていただき、心より感謝申し上げます。

6月から始めた「基礎力プリント」の取組では、ご家庭での丸付けや励ましの声かけなど、多くのご協力をいただいております。本当にありがとうございます。

一枚のプリント、一つの声かけは小さなことのように見えます。しかし、その積み重ねが、子どもたちの「できた」「わかった」という自信となり、未来につながる大きな力になります。

また、ご家庭で「どうやって考えたの?」「頑張ったね」と声をかけていただく時間は、子どもたちにとって大切な学びの時間です。保護者の皆様は、子どもたちにとって最高の学びのパートナーです。

学校・家庭・地域が心をつなげて、子どもたちの成長を支えていけることを大変心強く感じています。

これからも、子どもたちの「学びたい」という気持ちを大切に育ててまいります。今後とも温かなご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



声

- 「丸付けをしながら、子どもがどこでつまづいているのか分かるようになりました。学校での学習の様子を知るよい機会になっています。」
- 「先生方が子どもたちの基礎的な力を大切に考えてくださっていることが伝わります。家庭でも協力していきたいです。」
- 「答えが間違っていたとき、親が教えてしまってよいのか、どこまで関わればよいのか迷います。」
- 「できる子には簡単すぎるようで、もう少し発展的な問題にも挑戦させたいです。」

いただいた声は、取組をよりよいものにしていく大切なヒントになります。

「基礎力プリント」の目的は、毎日完璧にこなすことではなく、子どもたちが自分の力の伸びを感じ、『できた』『分かった』という経験を積み重ねることです。

ご家庭には、答えを教えることよりも、

「どこまで自分で考えたの?」「昨日よりできるようになったね」「頑張っているね」

という励ましの声かけをお願いしています。

また、家庭の状況によって取り組む時間が異なることも十分承知しております。無理なく、できる範囲でご協力いただくことが、子どもたちの安心した学びにつながります。

学校と家庭が同じ方向を向きながら、一人一人の成長を温かく支えていければと思います。



未来の笑顔を守る、夏休みの歯みがきチャレンジ ～そめだしタブレットで気づく「みがけた!」の喜び、家庭で育てる健康習慣～

夏休みは、お子さんの健康についてご家庭でゆっくり見つめ直すことができる大切な期間です。なかでも「歯と口の健康」は、毎日の食事や生活習慣、そして将来の健康にも深く関わっています。

本校では、児童の健康課題の一つとして「歯や口の中を清潔に保つこと」が挙げられています。学校でも歯みがきの指導を行っていますが、毎日の習慣づくりには、ご家庭での声かけや見守りが何より大きな力になります。

そこで夏休みに向けて、養護教諭より「歯垢染色タブレット（そめだしタブレット）」を配布しました。歯みがきでは落としきれなかった歯垢が色で確認できるため、お子さん自身が「どこにみがき残しがあるのか」を知り、正しい歯みがきの方法を身に付けるきっかけになります。ぜひご家庭で一緒に取り組み、お子さんの歯みがきを見守りながら、みがき方を確認していただければと思います。

また、「歯みがきカレンダー」も配布しています。毎日の歯みがきを記録することで、歯みがきを続ける意識が高まり、望ましい生活習慣の定着につながります。保護者の皆様からの励ましや声かけは、お子さんの意欲につながりますので、ぜひ一緒に取り組んでいただけると幸いです。

「歯垢染色タブレット（そめだしタブレット）」や「歯みがきカレンダー」の詳しい使い方や取り組み方については、「保健だより」に掲載しておりますので、必ず御確認くださいようお願いいたします。

夏休みには、ぜひ次のようなことを意識して取り組んでみてください。

- ・毎日の歯みがき（朝・昼・夜）を続ける
- ・特に就寝前は、時間をかけて丁寧にみがく
- ・甘いおやつや飲み物は時間を決めて楽しむ
- ・歯科検診の結果を確認し、

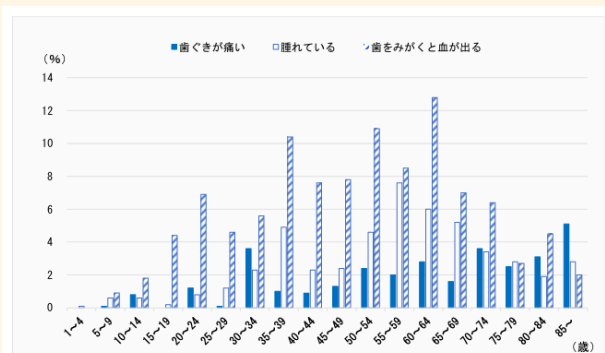
治療が必要な場合は早めに受診する

毎日の小さな積み重ねが、お子さんの健康な歯と体を守り、生涯にわたる健康づくりにつながります。

この夏休みが、ご家族で「歯と口の健康」について話し合い、一緒に実践するよい機会となれば幸いです。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

歯磨きカレンダーは、8月25日、2学期始業式に学校に提出してくださいね。



注：割合 (%) は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正値であり、単なる人数比とは異なる。

図 24-2. 歯ぐきの症状、年齢階級別 (1歳以上)

(グラフ：厚生労働省 令和6年歯科疾患実態調査結果の概要 (令和7年12月修正版) より)

毎日が発見！ 学びと笑顔の7月 ～子どもたちが紡ぐ、輝きあふれる日々～

1年生



2年生



3年生



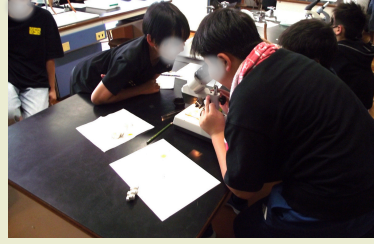
4年生



5年生



6年生



笑顔あふれる 縦割り班給食

令和8年度の新たな取組（異学年交流）として、初めての縦割り班給食を実施しました。

普段は同じ学年の友達と食べている給食ですが、この日は1年生から6年生までが一緒の班になり、楽しいひとときを過ごしました。

上級生が下級生を気遣う姿や、学年を越えて会話が弾む様子がたくさん見られ、学校全体のつながりを感じる温かな時間となりました。子どもたちの笑顔があふれる、素敵な交流の機会となりました。



足寄小挑戦プロジェクト・大人はそっと見守り隊

「自分で決める」が未来を拓く

足寄小学校
学校運営協議会より

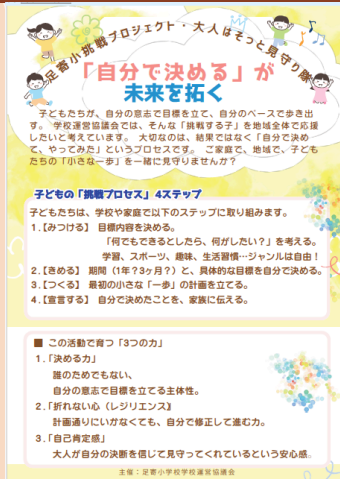
子どもたちが自分で目標を決め、自分のペースで一歩を踏み出す姿を、家庭・学校・地域が一体となって応援する取組として、足寄小学校学校運営協議会では「足寄小挑戦プロジェクト」を進めています。

この取組で大切にしているのは、結果ではなく、「自分で決めて挑戦してみた」という経験です。目標を決めるのは子ども自身です。大人はすぐに答えを示すのではなく、子どもの思いや考えを尊重しながら、達成に向けて温かく見守り、励ます「魔法の声かけ」で応援していただければと思います。

本プロジェクトは、新年度（令和8年度）のスタートに向け、令和7年度春休みに「今年挑戦してみたいこと」を考えるきっかけづくりとして文書を配付しました。その後、5月に開催された学校運営協議会において、「夏休みは挑戦を实践するよい機会になる」との意見から、夏休みにも引き続き取り組むこととなりました。

詳しくは、本日配付した「足寄小挑戦プロジェクト」（学校運営協議会作成・3枚綴り）をご覧ください、ご家庭でお子さんと一緒に取り組んでいただければ幸いです。

なお、今回は夏休み終了後に学校へ提出してください。提出していただいた取組は、学校運営協議会で紹介し、子どもたちの頑張りを地域全体で応援していきます。子どもたちの「やってみよう」という気持ちを、家庭・学校・地域が一緒になって育んでいきましょう。



子どもたちが、自分のペースで目標を立て、自分のペースで歩出す。学校運営協議会では、そんな「挑戦する子」を地域全体で応援したいと考えています。大切なのは、結果ではなく「自分で決めて、やってみよう」というプロセスです。ご家庭で、地域で、子どもたちの「小さな一歩」を一緒に見守りませんか？

子どもの「挑戦プロセス」4ステップ
子どもたちは、学校や家庭で以下のステップに取り組みます。

- 【みつける】 目標内容を決める。
「何でできるかと思ったら、何がしたい？」を考える。
学習、スポーツ、趣味、生活習慣…ジャンルは自由！
- 【きめる】 期間（1年？3ヶ月？）と、具体的な目標を自分で決める。
- 【つくる】 最初の小さな「一歩」の計画を立てる。
- 【進捗する】 自分で決めたことを、実際に進める。

■ この活動で得る「3つの力」

- 1.「決める力」
願のためでない、自分の意志で目標を立てる主体性。
- 2.「折れない心（レジリエンス）」
計画通りにいかなかったり、自分で修正して進む力。
- 3.「自己肯定感」
大人が自分の決断を信じて見守っているという安心感。

主催：足寄小学校学校運営協議会



■ 大人のための「5か条」：待つ勇気の実践ガイド

- 1.「否定」しない
「本当にできるの？」は問い、実際にやってみるまで、まずは肯定しよう。
- 2.「強制」しない
進んでいなくても「自分で決めたこと」と責めない、むしろ励ましてあげよう。
- 3.「見守り」したい
失敗しなくても、子どもが助けを求めるときは口を出さず、必要に応じてサポート。

■ 魔法の声かけバリエーション

魔法	かけてあげたい言葉（例）	返して欲しい言葉（例）
目標を立てた時	「ワクワクするね！頑張っているよ！」	「ちょっと頑張るのにも頑張ろう！」
進んでいない時	「今は無理かも！休んでいいよ！」	「自分で決めたこと、やらなきゃ！」
失敗、挫折した時	「やってみて良かったね、挑戦者さん！」	「ほら、進めようじゃない！」

■ 自分挑戦シート

わたし・ぼく・君「挑戦プロジェクト」

1. プロジェクト名（ワクワクする名前をつけよう！）
【 】
2. いつまでに？（ゴール）
【 】月【 】日【 】時【 】分【 】秒（月まで）
3. 最初の「小さな一歩」は何をする？
【 】
4. 【わたし・ぼく・君】大人の方のサイン欄
「私は、あなたの挑戦を信じて見守ることを約束します。」
（名前）（サイン）
5. 取り組んだ日に○をつけよう。
「ゴール」をいいます。

主催：足寄小学校学校運営協議会

わたし・ぼく・君「挑戦プロジェクト」
（ ）年（ ）月（ ）日

1. プロジェクト名（ワクワクする名前をつけよう！）
【 】
2. いつまでに？（ゴール）
【 】月【 】日【 】時【 】分【 】秒（月まで）
3. 最初の「小さな一歩」は何をする？
【 】
4. 【わたし・ぼく・君】大人の方のサイン欄
「私は、あなたの挑戦を信じて見守ることを約束します。」
（名前）（サイン）
5. 取り組んだ日に○をつけよう。
「ゴール」をいいます。

2026	JULY	2026	AUGUST										
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

8月25日（火）に担任の先生に提出してね！

夏休み明けに
学校へ(担任の先生)
提出してください

夏休みは「読書の夏」に

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みです。長い休みだからこそ、普段はなかなかできないことにじっくり取り組める貴重な時間です。今年の夏は、ぜひ「読書の夏」にしませんか。

本校では今年度4月から、全校で毎日読書の時間を設けています。朝のひとときに静かに本と向き合う時間をつくることで、読書を生活の一部として習慣化し、読解力や語彙力を高めるだけでなく、想像力や考える力、豊かな感性を育むことを目指しています。また、本の世界に親しむことで心を落ち着かせ、一日の学習へ気持ちを切り替える大切な時間にもなっています。

本には、わくわくする物語や心に残る伝記、不思議を解き明かす科学の本など、さまざまな世界が広がっています。本を読むことで、自分とは異なる考え方や価値観に触れ、新しい発見や学びを得ることができます。一冊の本との出会いが、子どもたちの興味や関心を広げ、将来の夢や目標につながることも少なくありません。

夏休みは、学校で身に付けた読書習慣を続ける絶好の機会です。ぜひご家庭でも、お子さんと一緒に本を読んだり、読んだ本について話し合ったりする時間をつくってみてください。親子で本の楽しさを共有することは、子どもたちの読書への意欲をさらに高めることにもつながります。

この夏、一冊でも多くの本と出会い、心を豊かにし、新たな発見に満ちた実りある夏休みになることを願っています。

8月の行事予定

- 3日（月） 夏休みチャレンジクラブ
- 4日（火） 夏休みチャレンジクラブ
- 5日（水） 夏休みチャレンジクラブ
- 6日（木） 夏休みチャレンジクラブ
- 11日（火） 山の日
- 12日（水） ～14日（金） 学校閉庁日
- 25日（火） 2学期始業式
- 27日（木） 移動図書
- 子ども議会傍聴（6年）
- 28日（金） 水泳（6年）
- 31日（月） 水泳（3年）

今年の夏休みは
『やってみよう！』を
『やってみよう！』
に変える夏休みに

